

転倒転落防止情報②

H27年度より転倒・転落に関する質管理データ
DiNQL※に登録していきます。

※労働と看護の質向上のためのデータベース事業

DiNQLでは入院患者の転倒転落発生率や転倒転落による
負傷発生率を他病院と比較したり、時系列推移データを見て
いくことができます。

H27年4月以降のインシデントレポート入力の際の注意点

転倒・転落の定義では、「自分の意志からではなく、地面または
より低い場所に足底以外の身体の一部が接触すること」となって
います。つまづいた際に地面またはより低い場所に身体の一部が
接触していない場合はタイトルを「転倒未遂あるいは転落未遂」、
で入力してください。

レベル	障害の持続性	障害の程度
<input type="radio"/> レベル0	—	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった
<input type="radio"/> レベル1	なし	患者への実害はなかった(仰臥の転落を考えた可能性は否定できない)
<input type="radio"/> レベル2	一過性	軽度 処置・治療は全く要せず(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査の必要性が生じるものを含む)
<input type="radio"/> レベル3a	一過性	中等度 軽微な処置・治療を要した(消毒、湿布、皮膚の剥離、患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査の必要性が生じた場合など)
<input type="radio"/> レベル3b	一過性	高度 濃厚な処置・治療を要した(バイタルサインの高度変化、入院日数の延長、外来患者の入院など)
<input type="radio"/> レベル4a	永続性	軽度～中等度 永続的な障害・後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は無い
<input type="radio"/> レベル4b	永続性	中等度～高度 永続的な障害・後遺症で、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
<input type="radio"/> レベル5	死亡	死亡

担当職種(必須):

<input type="radio"/> 医師	<input type="radio"/> 看護師	<input type="radio"/> 薬剤師
<input type="radio"/> 検査技師	<input type="radio"/> 放射線技師	<input type="radio"/> 栄養士
<input type="radio"/> OT	<input type="radio"/> PT	<input type="radio"/> ST
<input type="radio"/> 事務職	<input type="radio"/> 看護助手	<input type="radio"/> 調理師

例えば、
「トイレに行こうとしてつ
まづき洗面台にもたれ
かかった。」というよう
な場合です。